

日本の生産は増加するも雇用には弱さ

ポイント① 5か月連続で鉱工業生産が増加

11月30日に発表された10月の日本の鉱工業生産指数は、前月比+3.8%と9月の同+3.9%と同程度の伸びとなりました。これで5か月連続の増加です。10月の生産指数は新型コロナウイルス感染拡大前の今年2月の水準をまだ4.5%下回っていますが、図1が示すように、企業の生産活動はかなり回復してきたと言えます。

一方、12月1日発表の10月の失業率は3.1%と9月の3.0%から上昇し、2017年5月以来の高さとなりました。雇用の回復の遅れが示唆されます。

ポイント② 企業の経常利益が反発

同じく12月1日に発表された7-9月期の法人企業統計によれば、非金融法人企業の経常利益は前期比+33.7%と、4-6月期の同-30.2%から大きく反発しました。ただ、利益の水準はピーク時の2018年4-6月期と比べると40%以上低い所に留まっています。図2が示すように、企業の売上高や利益の減少は新型コロナウイルス感染拡大前から続いていました。したがって感染拡大が止まるだけでは企業利益は十分に回復しない可能性があり、企業としては利益回復のためにコスト削減が求められます。

ポイント③ 雇用低迷長期化の懸念

ただ、そうなると企業が雇用の削減を強め、雇用回復がさらに遅れることが懸念されます。また、企業は設備投資にも慎重になりがちでしょう。7-9月期の非金融法人企業のソフトウェアを含む設備投資は、前期比-1.2%と2四半期連続で減少しました。

政府の経済対策としても、コロナ禍で苦しむ企業や労働者の支援と共に、新たな雇用や設備投資が見込めるビジネスチャンスの掘り起こしが必要でしょう。

図1：日本の鉱工業生産指数と失業率

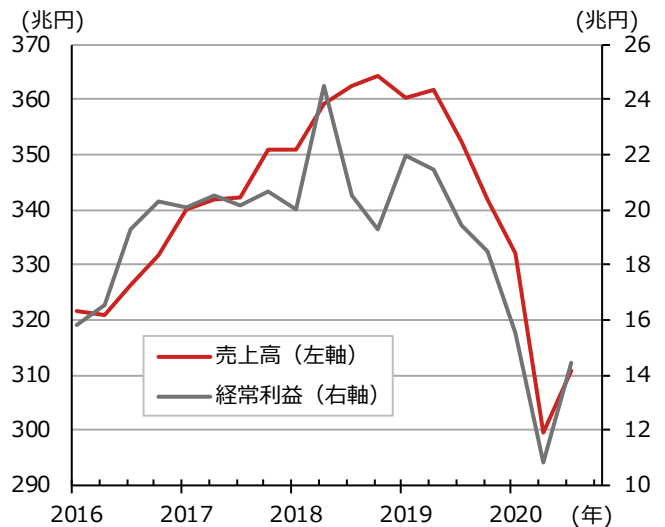
期間：2005年1月～2020年10月、月次



(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

図2：日本の非金融法人企業の売上高、経常利益

期間：2016年1-3月期～2020年7-9月期、四半期



(出所) 財務省法人企業統計 (<https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003066618>) より野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

12月14日 日本、12月調査日銀短観
(全国企業短期経済観測調査)
12月18日 日本、金融政策発表

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。